



◆国指定重要文化財「旧菅野家住宅」

## 魅力1

かやぶき民家で  
歴史を感じて！



大人も子どもも  
みんなで楽しめる♪



▼昔ならではの道具に興味津々



◆江戸時代の修験者の家「旧北川家住宅」

村内にはかやぶき民家10棟、付属建造物15棟、展示館3棟の計28棟が点在。歴史を感じ、見て、触れて、学ぶことができる。



みちのく民俗村は、北上川流域とその周辺のかやぶき民家を移築復元した東北有数の野外博物館です。歴史ある建造物で昔の暮らしを感じながら、安らぎの時間を過ごせます。県内外の人が訪れ、開村から30周年を迎えた現在も多くの人々に愛される場になっています。

ってこんなやっくら！

# みちのく民俗村

■問い合わせ みちのく民俗村 ☎72-5067

## 魅力2

自然の中で  
伸び伸びできる



◆美しい自然風景から四季の移ろいを感じられる

約7haの広い敷地で、子どもたちが伸び伸びと走り回ることができる。木々に囲まれているので、自然が織りなす音で癒しの時間を楽しむことも◎幼稚園・保育園の園外保育や小学校の校外学習などでも人気の場所。



◆園外保育で村内を散策！

### 指定管理者 (株)展勝地 和賀 匠彦 部長



初代村長の「みちのく民俗村開村宣言」の精神を大切にしながら、活動していきたいです。最近、イベントの場所として使いたいという声をいただくことも増えています。10月には開村30周年記念「みちのく民俗村まつり」もあるので、たくさんの人に来村してもらい、楽しんでいってほしいですね。



◆入り口の水車小屋が来村者をお出迎え



開村宣言の全文はみちのく民俗村のホームページをご覧ください。



■主なイベント

- ・旧暦の行事  
(正月や七夕など)
- ・自然観察会
- ・田植えから収穫までを体験できる  
「結っこ田んぼ」ほか



イベントが盛りだくさん

みちのく民俗村の歴史

建築・民俗文化財が失われつつある現状を懸念し、文化遺産を保護・活用するため、昭和48年に市立博物館が開設。その後、水車小屋などを移築して、自然環境を生かした野外施設の拡充を図った。

53年、大正建築様式を伝える県立高等学校旧校舎を移築し、民俗資料館に。58年には先人の生活を学ぶ場にするために整備計画が立てられ、約10年かけて古民家や歴史的建造物などを復元・保存。平成4年にみちのく民俗村として開村。27年からは教育施設から観光施設へ生まれ変わり、(株)展勝地が指定管理者として運営している。

歴代村長



初代 高橋 延清 氏  
(平成4～11年度)

愛称:どろ亀さん  
東京大学北海道演習林で森の研究をしていたときに名付けられた

- 二代目 澤藤 雅也 氏 (平成12～16年度)
- 三代目 相澤 史郎 氏 (平成17～26年度)



📌千歯扱きで脱穀！

旧暦で祝う行事や、昔使われていた道具を使用できるイベントなど、さまざまな催し物を開催。人と人の交流スペースにもなっており、イベント時には多くの人が訪れ、笑顔あふれる場所に。



📌「旧暦の七夕」願いを短冊に書いたよ！

魅力4

人気撮影場所  
コスプレの  
スポット



📌ゲーム「刀剣乱舞」のコスプレ。県内から集まった仲間と撮影を満喫



📌アニメ「魔道祖師」のコスプレで撮影を楽しむ2人。「料金はお手頃で雰囲気が好き」と話す

☐ スプレの撮影スポットとして県内外からアニメファンなどが来村。歴史ある風景が、好きな漫画やアニメの世界とぴったりだとか。施設使用料を払うと屋内での撮影も◎

開村30周年記念  
みちのく民俗村まつり

- とき…10月22日(土)・23日(日)10時～16時
- 内容…どろ亀村長回顧展、藩境トークショー、ミニ消防フェアなど



「村人」の登録募集中

「村人」に登録すると、月1回程度メールまたは郵送で村内の情報を受け取れます。右記のQRコードからぜひご登録を！



来村者の声 嶋崎さんご家族(市内在住)



年に2～3回は遊びに来ます。村内は車が通らないため、子どもたちは伸び伸びと遊べますし、親も安心です。子どもたちは歴史ある建造物や展示品を見ると「これはなんだろう？」と興味をもち、楽しいようです。何回行っても新しい発見があるところも、みちのく民俗村の魅力の一つだと感じています。

そのほかにも！



📌村内には南部領と伊達領の藩境がある